

平成14年 生産調整規模について

平成14年度の実績は前年度と同規模であり、全国で101万㌔（緊急拡大分4万7千㌔を含む）、新潟県では4万7千㌔（うち緊急拡大分2,740㌔）となりました。本村でも昨年12月末に県より生産調整目標面積376.57㌔（うち緊急拡大分20.71㌔）が配分されました。

生産及び出荷の指針

景気の低迷により需要の落ち込みや流通在庫の圧縮等により、平成14年米穀年度の需要は計画を30万㌔程度下回り、900万㌔程度とされています。15米穀年度の需要量も900万㌔程度と想定され、この場合、15年10月末の持越在庫量は159万㌔となる見通しです。（表-1）

「平成14年産米穀の生産及び出荷の指針」が農水省から示され、備蓄水準については現行の150万㌔（±50万㌔）を100万㌔程度まで引き下げることが決定されました。平成13年10月末での持ち越し在庫量が213万㌔であることから、米の需給を改善させるためには、平成14年度も引き続き着実な生産調整の実施が必要不可欠となっています。

（表-1）平成14・15米穀年度の主食用等の需給見通し

	全体需給	計画流通米		
		自主流通米	政府米	合計
A 13年10月末持越し在庫量	213	37	176	213
B 13年産米生産量	881			
	うち計画出荷量	446	11	457
C 生産オーバー分の配合飼料用処理	△11		△11	△11
D 供給量計 (D=A+B+C)	1,083	483	176	659
E 需要量	900	456	20	476
F 14年10月末持越し在庫量 (F=D-E)	183 (±10)	27	156	183 (±10)
G 14年産米生産量	876			
	うち計画出荷量	438	15	453
H 供給量計 (H=F+G)	1,059	465	171	636
I 需要量	900	449	28	477
J 15年10月末持越し在庫量 (J=H-I)	159 (±10)	16	143	159 (±10)

注) 1 「14年10月末持越し在庫量及び15年10月末持越し在庫量」欄の(±10)は、米穀の生産・流通・消費の各段階で見通しに変動が生じた場合に想定される持越し在庫量の増減を示したものです。

2 生産量及び自主流通米の出荷量は、加工用米の生産予定数量（平成13年産・14年産とも24万㌔）を除いた数量であり、14年産米生産量には陸稲の生産量を含みます。

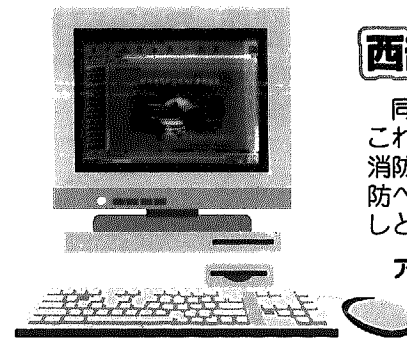
3 主食用等需要量は、主食用のほか、自主流通米で供給されている酒造用及びもち米です。

4 平成14年産米の政府買入数量15万㌔は、平成14米穀年度の政府米販売が20万㌔となることを前提とするものであり、実際の販売が計画未達となった場合の実際の買入数量は、15万㌔から販売計画未達数量を控除した数量とします。

西部広域消防事務組合 消防のホームページ開設

同組合では、地域に密着した消防をめざしてホームページを開設しました。これにより、皆さんに休日の救急当番医や消防のしくみ、防災センターなどの消防知識をより詳しく提供していきます。また、日ごろ皆さんが感じている消防への質問などをいただく窓口として、電子メールも受け付けております。どうぞお寄せください。

アドレス ホームページ..... <http://www.ns119.jp/>
Eメール..... soumu@ns119.jp



■村内火災出動状況

種別	件数
建物火災	2件
林野火災	3件
その他火災	3件

岩室村での火災発生件数は8件で昨年と同じく、近隣町村への出動は11件でした。

みなさんの大切な財産やかけがえのない命を一刻にして灰にしてしまう火災。皆さんも火災予防について話し合い、火の用心を心がけて下さい。



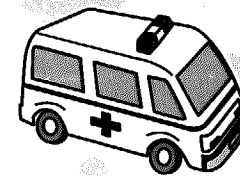
■近隣町村への火災出動状況

町村名	件数
吉田町	6件
分水町	1件
弥彦村	1件
巻町	3件

救急

救急出動件数は283件で、昨年と比べ、42件増加しました。

救急出動は増加をたどっていますが、救急車の要請は、真に必要な重症患者のためのものです。



■搬送人員の傷病程度

軽症	135人
中等症	89人
重症	44人
死亡	9人

■救急車の出動状況

急病	搬送人員	147人
	出動件数	161件
交通事故	搬送人員	54人
	出動件数	41件
一般負傷	搬送人員	40人
	出動件数	41件
その他	搬送人員	36人
	出動件数	40件

軽症の場合は、消防署で病院を照会しますので皆さんのご協力をお願いします。

☎82-3360

昨年1年間に岩室消防署から出動した、火災出動及び救助出動件数をお知らせします。

平成13年 消防白書

1年間の無火災を誓う岩室村消防出初式

岩室村の無火災を祈り、1月6日、「岩室村消防出初式」が村民体育館で行われました。

消防署員と消防団員は、佐藤村長より「村民の生命、財産を災害から守り、村民の負託に応えてほしい」と訓示を受け、新年をむかえ、決意を新たに無火災を誓い合いました。

また、増加傾向にある救急出動に適確に対応するために消防署員による応急手当訓練が行われました。（=写真=）

